

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金預金	三菱東京UFJ銀行他		運営資金			590,341,277
事業未収金	ショップサポートセンター-being桜山他		運営資金長期貸付金戻入他			224,845,026
未収補助金	サポートセンター-being吹上他		防犯設備整備補助金			3,159,000
商品・製品	サポートセンター-being吹上他		自主製品商品・製品期末残高			1,104,806
仕掛品	サポートセンター-being吹上他		自主製品仕掛品残高			442,235
原材料	サポートセンター-being吹上他		自主製品原材料期末残高			363,807
立替金	法人本部他		消費税概算払他			8,177,856
前払費用	AIU損害保険(株)他		火災保険・傷害保険前払			1,512,496
仮払金	サポートセンター-being小本		社会見学活動費			231,770
	流動資産合計			0	0	830,178,273
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	名古屋市区鳴海町森下21-1他		第2種社会福祉事業であるサポートbeing緑親に使用している。			89,752,000
建物	法人本部(拠点)	1980年度	その他の社会福祉事業である法人本部に使用している	91,810,037	79,026,686	12,783,351
	ALP-ステーション育成会(拠点)	1980年度	第2種社会福祉事業である。あつた福祉ホームに使用している	50,796,078	43,723,385	7,072,693
	サポートセンター-being小本(拠点)	1992年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being小本に使用している	998,996,140	479,964,499	519,031,641
	サポートセンター-being小本(拠点)	1994年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being小本に使用している	7,998,000	3,490,458	4,507,542
	サポートセンター-being小本(拠点)	2011年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being小本に使用している	265,214,500	33,151,810	232,062,690
	サポートセンター-being吹上(拠点)	1976年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being吹上に使用している	72,916,872	56,971,019	15,945,853
	サポートセンター-being吹上(拠点)	1994年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being吹上に使用している	13,180,942	6,035,718	7,145,224
	サポートセンター-beingあつた(拠点)	1980年度	第2種社会福祉事業である。あつた福祉ホームに使用している	144,573,885	108,350,202	36,223,683
	サポートセンター-being瑞穂(拠点)	1983年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being瑞穂に使用している	100,960,000	79,533,380	21,426,620
	サポートセンター-being瑞穂(拠点)	2008年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being瑞穂に使用している	25,815,000	5,563,471	20,251,529
	サポートセンター-being瑞穂(拠点)	1987年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being瑞穂に使用している	1,400,000	993,163	406,837
	サポートセンター-being瑞穂(拠点)	1994年度	第2種社会福祉事業である。サポートbeing緑親に使用している	2,565,500	2,565,498	2
	サポートセンター-being瑞穂(拠点)	2009年度	第2種社会福祉事業である。サポートbeing緑親に使用している	2,495,000	1,788,083	706,917
	サポートセンター-being瑞穂(拠点)	2012年度	第2種社会福祉事業である。サポートbeing緑親に使用している	31,867,500	3,662,990	28,204,510
	サポートセンター-being若水(拠点)	1989年度	第2種社会福祉事業である。サポートセンター-being若水に使用している	151,881,300	81,337,389	70,543,911
	ショップサポートセンター-being桜山(拠点)	2011年度	第2種社会福祉事業である。ショップサポートセンター-being桜山に使用している	15,702,501	2,112,189	13,590,312
	ショップサポートセンター-being桜山(拠点)	2012年度	第2種社会福祉事業である。ショップサポートセンター-being桜山に使用している	25,765,000	2,786,235	22,978,765
			小計			1,012,882,080
定期預金	三菱東京UFJ銀行		基本金定期預金			1,000,000
	基本財産合計			2,003,938,255	991,056,175	1,103,634,080
(2) その他の固定資産						
建物	サポートセンター-being瑞穂	1988年度	フレハブ倉庫	856,000	855,998	2
構築物	サポートセンター-being小本		洗濯場	493,500	266,611	226,889
機械及び装置	サポートセンター-being吹上他		椅子式階段昇降機他	7,227,092	1,986,532	5,240,560
車輦運搬具	サポートセンター-being吹上他		マイクロバス他	35,827,835	34,670,512	1,157,323
器具及び備品	サポートセンター-being吹上他		R119他	121,222,846	109,967,473	11,255,373
権利	法人本部他		NTT西日本電話加入権他	6,705,940	0	6,705,940
ソフトウェア	法人本部他		OL財務会計ASKSソフト他	4,210,200	2,001,598	2,208,602
退職給付引当資産	(財)愛知県民間社会福祉共済会		退職共済掛金引当金			71,407,143
積立資産	サポートセンター-being吹上他		人件費積立金			140,711,873
	サポートセンター-being吹上他		修繕積立資産			136,313,020
	サポートセンター-being吹上他		備品等購入積立資産			51,061,000
	サポートセンター-being小本		施設整備等積立資産			91,015,000
	サポートセンター-being吹上他		移行時特別積立資産			30,543,972
	サポートセンター-being吹上他		工具変動積立資産			1,563,000
	サポートセンター-being吹上他		設備等整備積立資産			356,505,727
	法人本部		法人本部一億基金積立資産			100,057,905
	法人本部		法人本部更生施設積立資産			21,461,341
	法人本部		法人本部会館修繕積立資産			43,315,704
	法人本部		法人本部法人経営積立資産			24,633,263
	法人本部他		その他の積立資産			52,577,000
			小計			1,049,758,805
	その他の固定資産合計			176,543,413	149,748,724	1,147,960,637
	固定資産合計			2,180,481,668	1,140,804,899	2,251,594,717
	資産合計			2,180,481,668	1,140,804,899	3,081,772,990
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	法人本部他(運営費補助金他)					136,987,229
その他の未払金	ALP-ステーション育成会(派遣費)					11,290
1年以内返済予定設備資金借入金	(独立)福祉医療機構(設備資金借)					10,248,000
預り金	法人本部他(ちえの友鉛筆売上金)					8,099,296
職員預り金	SCbeing吹上他(社会保険料他)					1,177,709
	流動負債合計			0	0	156,523,524
2 固定負債						
設備資金借入金	(独立)福祉医療機構(設備資金借)					40,138,000
退職給付引当金	(財)愛知県民間社会福祉共済会					71,407,143
	固定負債合計			0	0	111,545,143
	負債合計			0	0	268,068,667
	差引純資産			2,180,481,668	1,140,804,899	2,813,704,323

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についての「取得年度」欄を記載すること。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)についての「減価償却累計額」欄を記載すること。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。